



ネット動画の門戸を拡大し、外出時のエンタメ要素を増幅



Panasonic
**Strada F1X
Premium 10
CN-F1X10C1D**

価格：オープン
(実勢価格：25万円前後)

ハイポテンシャルを
伸張させる
歴代最高の
ストラダF1X

ナビ本体からの手軽な操作で
配信サービスによる動画視聴
にも新対応。元々備える有機
ELディスプレイのポテンシャル
を引き出し、ファミリーカー
のエンタメ機能を大きく拡大。
これひとつで、映像よし、サウ
ンドよしと同乗するみんなに
楽しさを提供する。

パナソニック オートモーティブ
0120-50-8729
panasonic.jp/navi



動画配信サービスを堪能 車内エンタメ空間を新次元に

まとめ：松永大演



モニターユニットのサイズは240×141mm。画面はハニカム構造として剛性を高めている。また左右前後の角度調整と奥行き、上下の高さ調整が可能。ナビは、緊急情報を受信すると自動的に切り変わるなど、充実の内容だ。

車内での映像も音響も
これ一つで丸つきり別物に

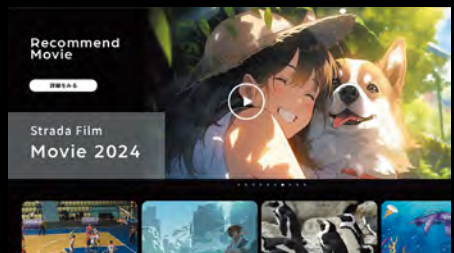
ストラダF1Xプレミアム10の
代名詞でもある、有機EL画面を採用したフローティング大画面。超小さなLEDを配列して自ら発光させることで、鮮やかで黒の表現がピシッと絞まって見える。

そんな画面の良さを存分に味わえるのが、新搭載の動画配信サービス。現在、対応している配信は、YouTubeなどをはじめとする6サービス。自宅やスマホで楽しんでいた動画が家に帰らなくても車内でもしっかりと楽しめる。

さらにストラダの特徴は、サウンドチューニング『音の匠』を採用する点だ。『極 サウンド』、『匠 マスターサウンド』、『和会話重視』と

現在、対応の配信サービスは、YouTubeなど6サービス。加えて、アップルカープレイ、アンドロイドオートとの接続も可能だ。

いう3つの
モードを持
ち、好みの音
響空間を实



現。コンサートホールにいるかのような音場やスタジオマスターサウンドに近い音を提供してくれる。また、『和会話重視』では、話し声の周波数とサウンドが重ならないようにすることで、スムーズに会話ができる設定となる。これらサウンドの演出はノーマルのスピーカーとは思えないもので、スピーカーを換えなくてもハイクオリティなサウンドを発揮するコスパの良さも魅力だ。

モニターは10インチの大画面もさることながら、その精細ぶりもさすが。そして、家庭ならばハイコストなサウンドシステムを構築しなければなし得ないほどのサウンドを、ストラダでは車内向けに手軽に構築できる。極めて魅力的だと言えるだろう。